

経営者も社員もうれしい！

企業型確定拠出年金導入のススメ

会社紹介

会社名

K.I.パートナーズ株式会社

所在地

〒330-0854
埼玉県さいたま市大宮区桜木町2丁目3番地-7F

代表取締役

伊東健（中小企業診断士）

対応地域

全国対応可能

主な事業

人事制度（給与・評価制度など）構築・運用支援
管理者研修
財務改善支援
企業型確定拠出年金の導入支援

TEL

050-5896-1917

FAX

050-3588-6585

HP

www.kipartners.jp

企業型確定拠出年金（企業型DC）とは？

このようなお悩みを持つ会社に最適の制度です

社員の満足度を高めたい

採用での差別化
アピールをしたい

社会保険料の節減をしたい



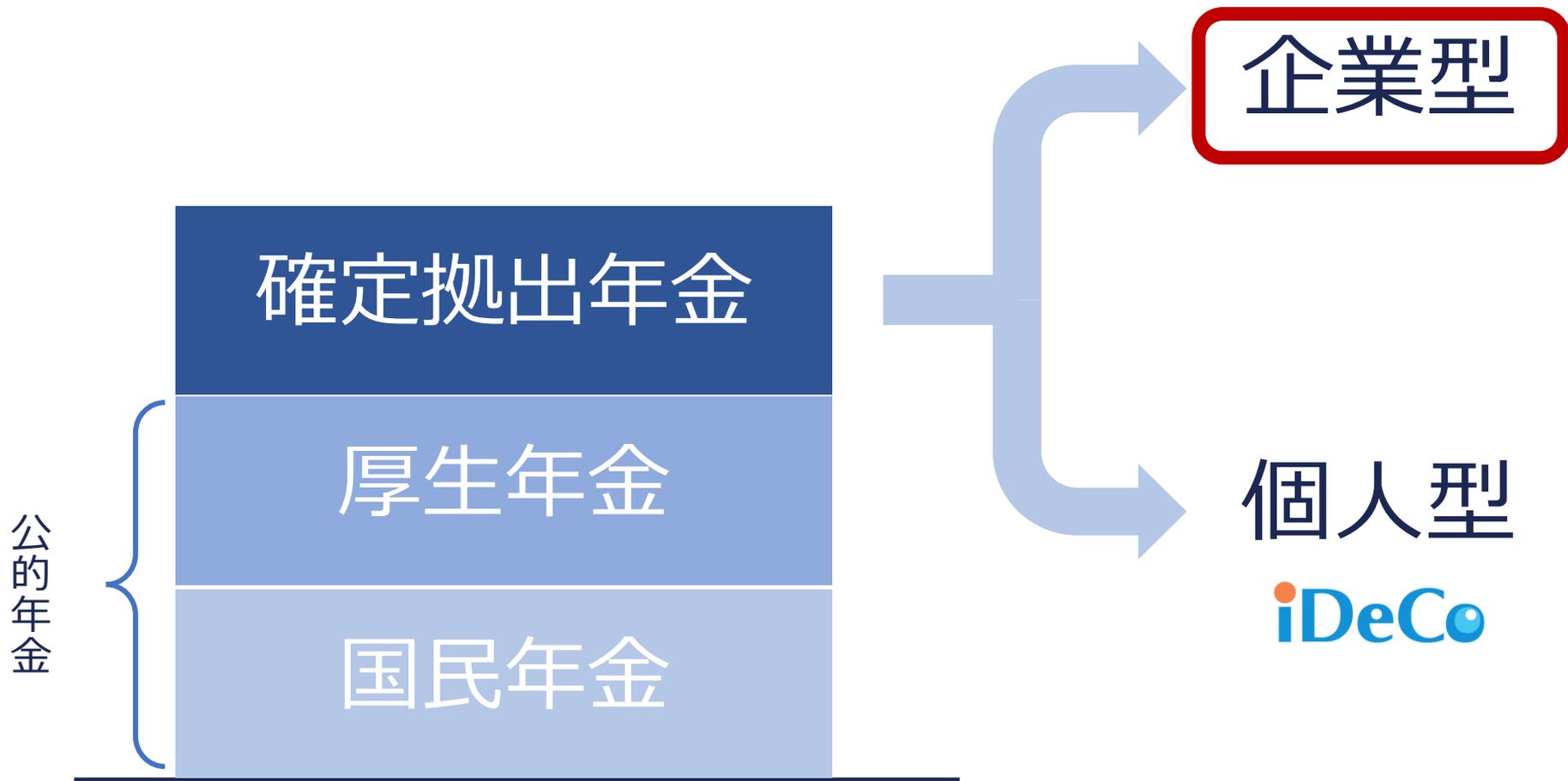
経営者、社員の手取りを
増やしたい

社員の退職金制度として
有効な制度を導入したい

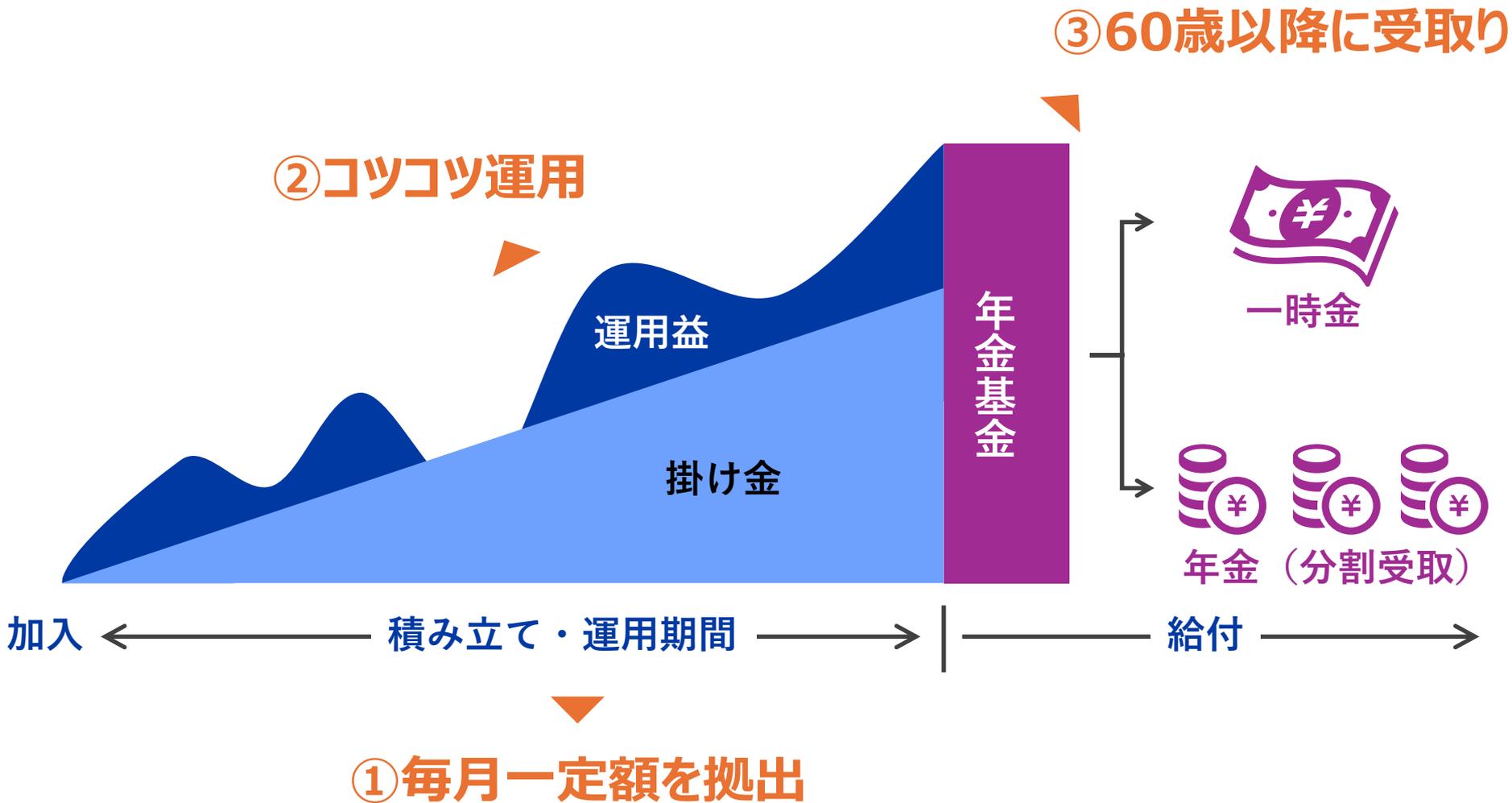
社員に対してメリットがある
福利厚生制度を導入したい

将来の資産づくりを
税制優遇という形で
国が応援する制度

個人型（iDeCo）と企業型DCがある

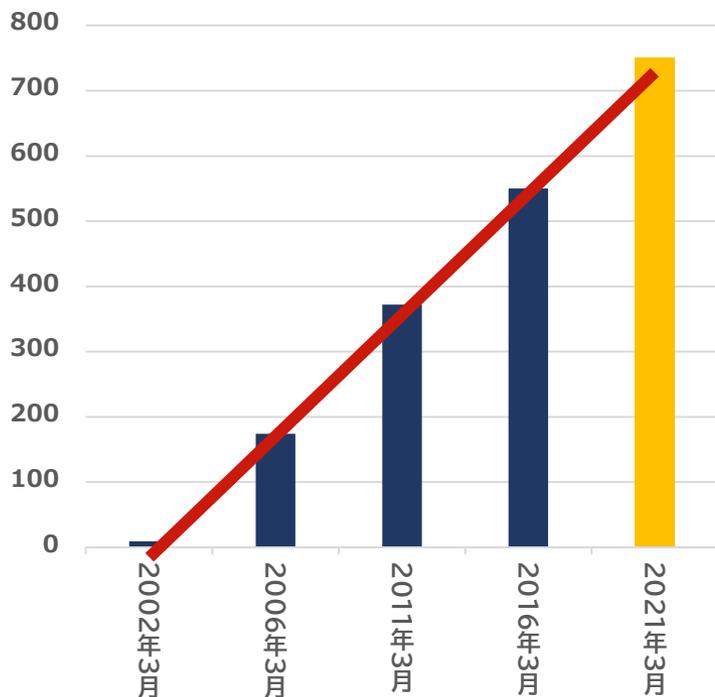


企業型DCのイメージ図



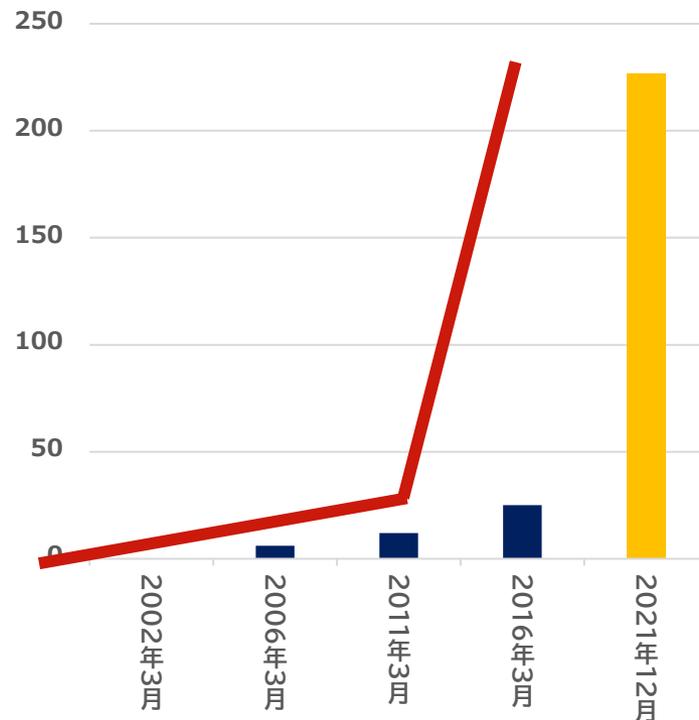
企業型・個人型ともに加入者は増加

企業型



厚生労働省 確定拠出年金の各種データ「企業型年金の規約数等の推移（規約数、事業主数、企業型年金加入者数）」より

個人型 (iDeCo)



国民年金基金連合会 業務状況「加入者数等について（令和3年12月時点）」
「確定拠出年金統計資料2002年3月末～2019年3月末」より

23年3月末時点の企業型加入者

対前年度23万人増の805万人

23年7月末時点の個人型加入者

300万人を突破（302.6万人）

企業型DCのメリット・デメリット

企業型DCのメリット

	社会保険	税金	福利厚生
 オーナー	<p>社会保険料が下がる</p> <p>社会保険料の節減ができる</p>	<p>所得税・住民税が減る</p> <p>税金が減り 手取りが増える</p>	<p>自身の年金積立</p> <p>非課税で老後資金の 積み立てができる</p>
 会社	<p>社会保険料負担下がる</p> <p>会社負担の 節減ができる</p>	<p>全額損金</p> <p>報酬改定議事録に 残す必要がある</p>	<p>優秀な人材確保</p> <p>社員や求職者への アピールができる</p>
 社員	<p>社会保険料が下がる</p> <p>社会保険の負担が 減る</p>	<p>所得税・住民税が減る</p> <p>税金が減り 手取りが増える</p>	<p>年金積立</p> <p>非課税で老後資金の 積み立てができる</p>

企業型DCのデメリット

 <p>会社</p>	<p>運用費用がかかる</p> <p>導入費用や ランニングコストがかかる</p> <p>▼</p> <p>社員にとっては運用費用を 会社が負担してくれることに！</p>	<p>管理負担が発生する</p> <p>導入時の手続きや 管理負担が生じる</p> <p>▼</p> <p>社員は掛金を決めるだけでOK！</p>
 <p>社員</p>	<p>60歳まで引き出せない</p> <p>拠出した資産は 60歳以降でないと受け取れない</p> <p>▼</p> <p>必然的に長期運用ができる！</p>	<p>自ら投資を行う</p> <p>自身で金融商品の選択を する必要がある</p> <p>▼</p> <p>金融リテラシーが高まる！</p>

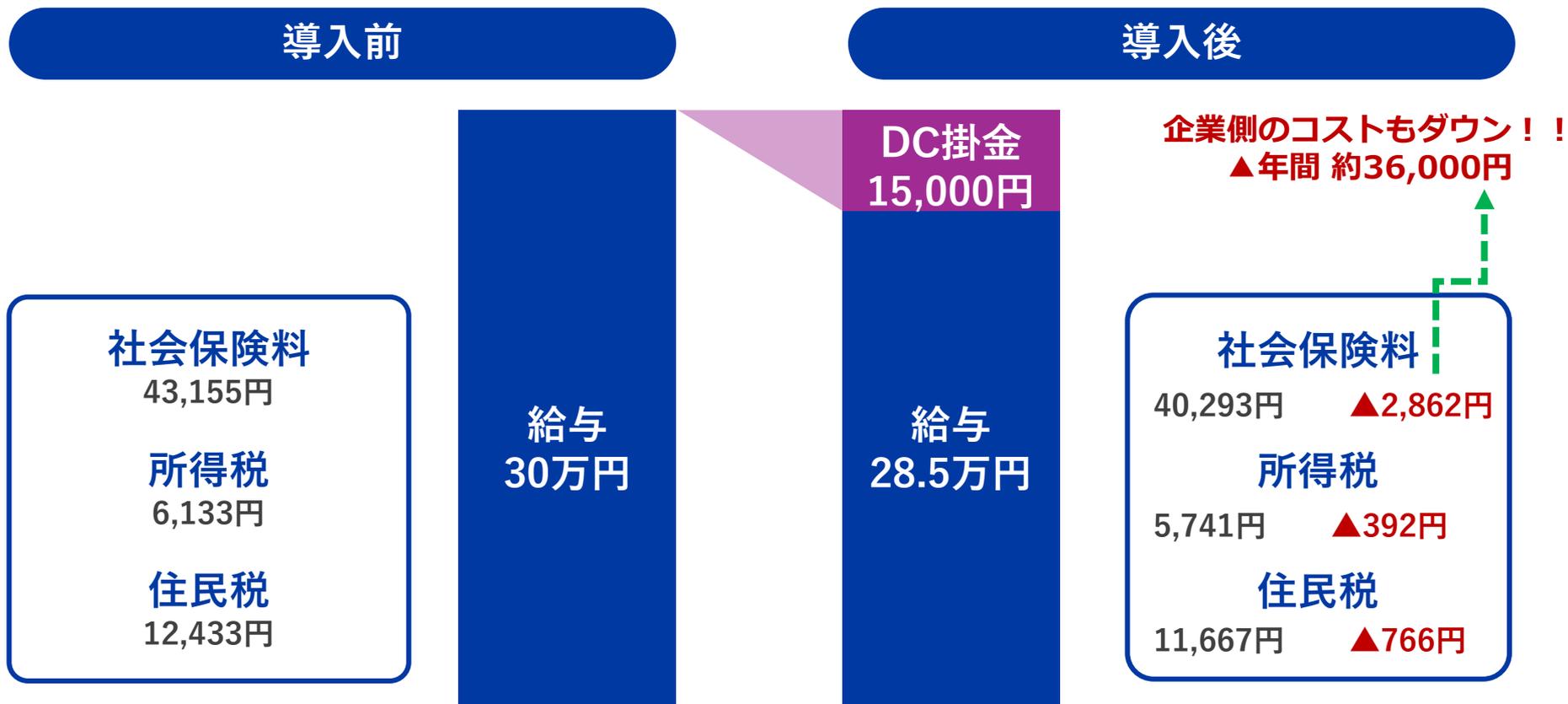
企業型DCのメリットを詳しく説明

メリット①

社会保険料や税金の節減

導入前

導入後



企業側のコストもダウン！！
▲年間 約36,000円

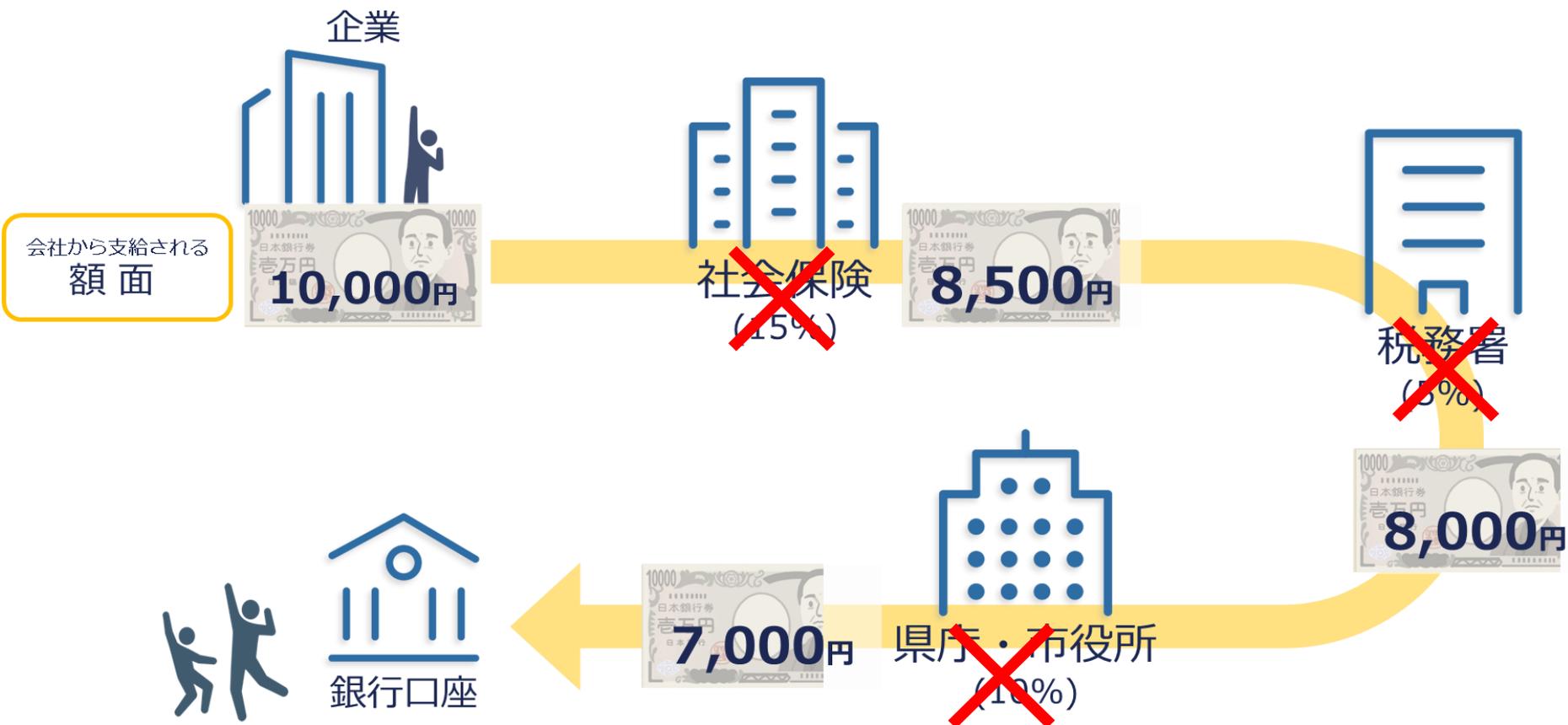
月額 ▲4,020円

年額 ▲48,240円

※計算の過程で小数点以下は切り捨てています。モデル例ですので実際の数字とは異なる場合があります。

メリット①

社会保険料や税金の節減



※社会保険料と税金の徴収の流れを簡略的に表すイメージ図です。実際の金額とは異なります。

留意点

社会保険料が下がることによって

厚生年金

傷病手当

休業補償
給付

失業等給
付

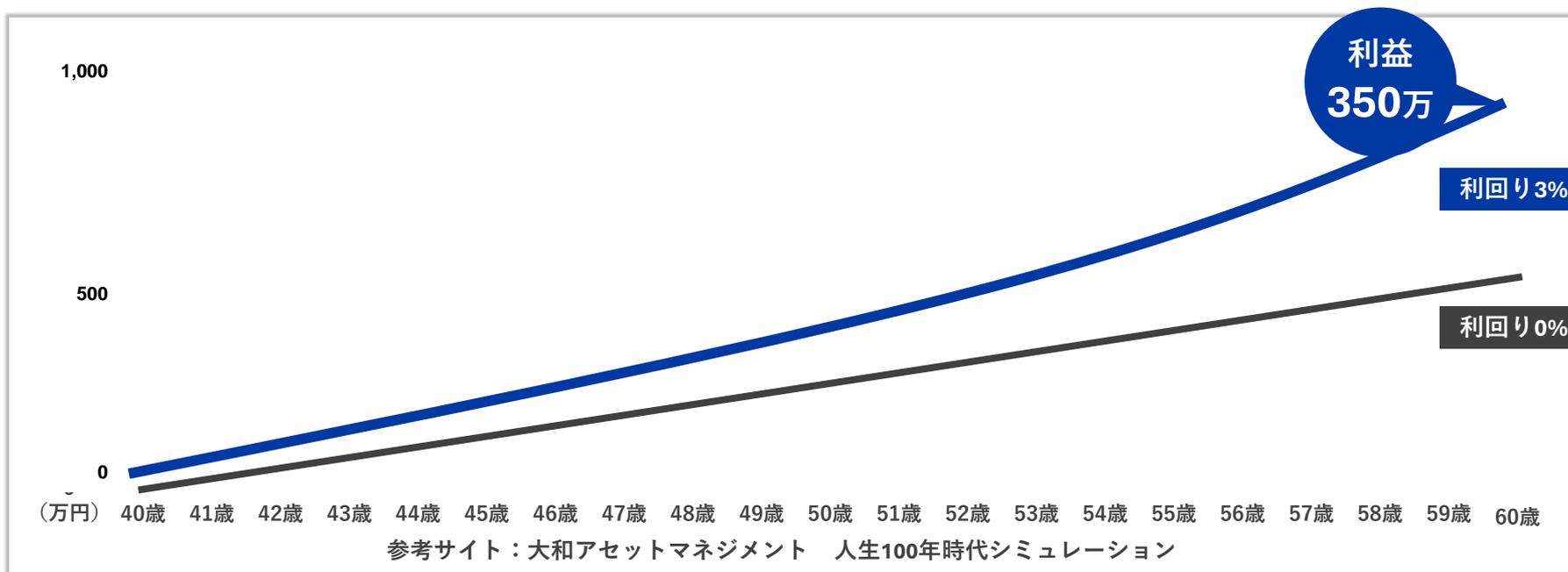
の支給額が減る

社会保険料や所得・住民税の節税効果と平均的な運用益を考慮すればリターンの方が大きいと考えて問題ない。

メリット②

運用益が非課税

毎月2万円の積み立てを25年間、利回り3%で運用できたとする



350万円の利益が出ると税負担は

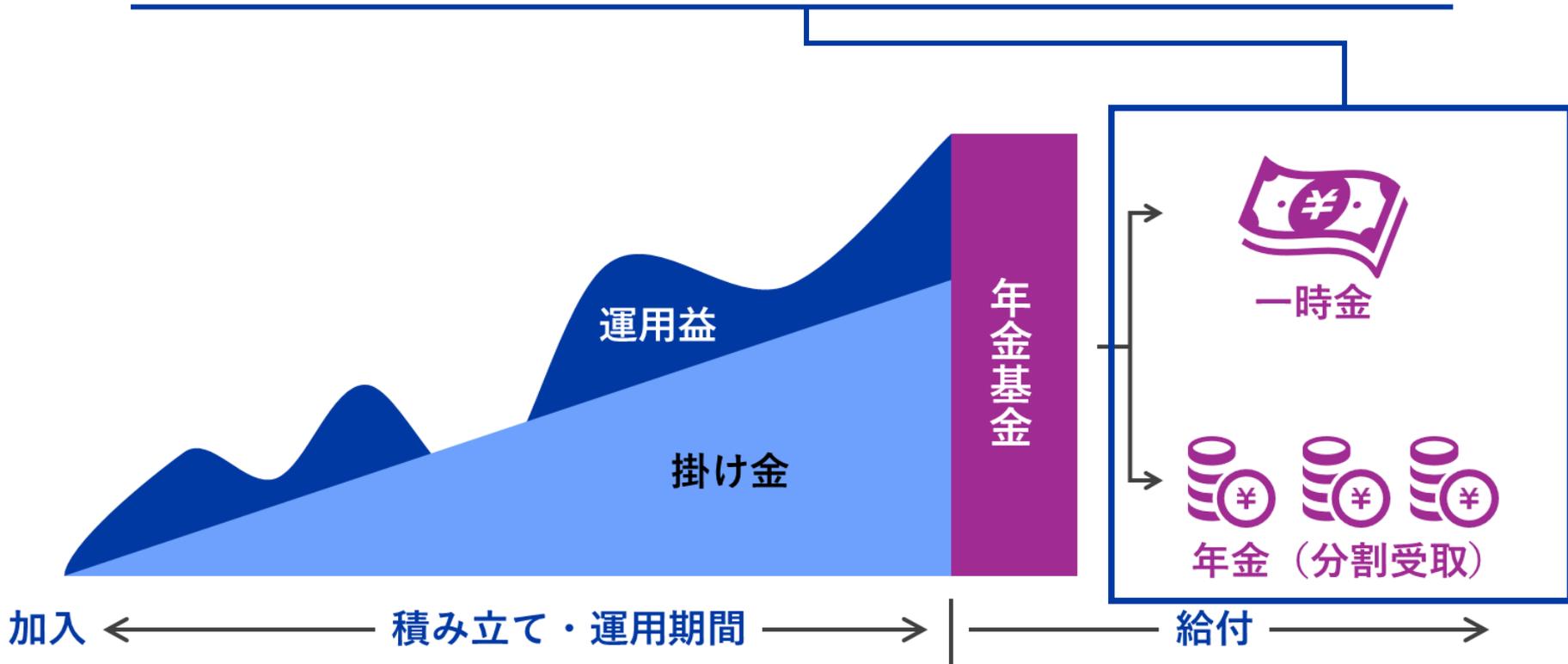
$$350 \times 20\% = 70\text{万円}$$

確定拠出年金は
ここが非課税！

メリット③

年金資産を税制優遇で受け取れる

受け取る際に一括でも分割でも税制優遇が受けられる



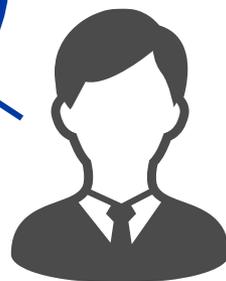


確定拠出年金あり



退職金制度あり

安心して
就職できそう



人材の維持・確保に有効！

導入後の期待効果

社員数50名の会社

経営陣 | 1名 加入 (役員報酬80万円・掛金5.5万円)
社員 | 25名加入 (給与23万円・掛金1.2万円) と想定した場合

(年間/円)

加入者		社保削減額	所得・住民税削減	合計
経営陣	1	23,856	193,500	217,356
社員	25	847,200	252,500	1,099,700
合計	26	871,056	446,000	1,317,056

会社の削減見込み

社会保険料削減 年間約**435,000円**

企業型DCの導入が進む背景

企業型DCの導入が進む背景（会社・社員視点）



会社

退職金確保の手段として
(退職金債務の心配がない)

- 節税保険への規制
- 中退共のメリットが薄い

採用時のアピール
(福利厚生として)

- 転職（中途）の判断基準
- 投資教育を受けた世代の
社会進出



社員

老後資金を確実に確保するため

- コツコツ投資+60歳まで引き出せない→老後資金を確保
- 自分の退職金資産を持ち運べる（ポータビリティ）

Z世代は投資教育を受けて社会に出てくる

株価を検索



日本経済新聞

朝刊・夕刊

LIVE

Myニュース

日経会社情報

人事ウォッチ

NIKKEI Prime

トップ

速報

ビジネス

マーケット

経済

国際

オピニオン

もっと見る

#NEO-COMPANY

高校家庭科で「投資信託」 22年4月から授業

マーケット

2019年11月12日 12:00



保存



2022年度から始まる高校の新学習指導要領は、家計管理などを教える家庭科の授業で「資産形成」の視点に触れるよう規定した。家庭科の先生が裁縫や調理実習に加え、株式や債券、投資信託など基本的な金融商品の特徴を教えることになる。教育現場では戸惑いも広がるなか、金融庁は「出張授業」や教材づくり、先生を対象にした投資イベントなどを通じて準備を後押ししていく。



年金資産を持ち運べる（ポータビリティー）

転職先に企業型確定拠出年金制度があるか、ないか？

退職

ある

転職先の企業型確定拠出年金制度に加入して継続

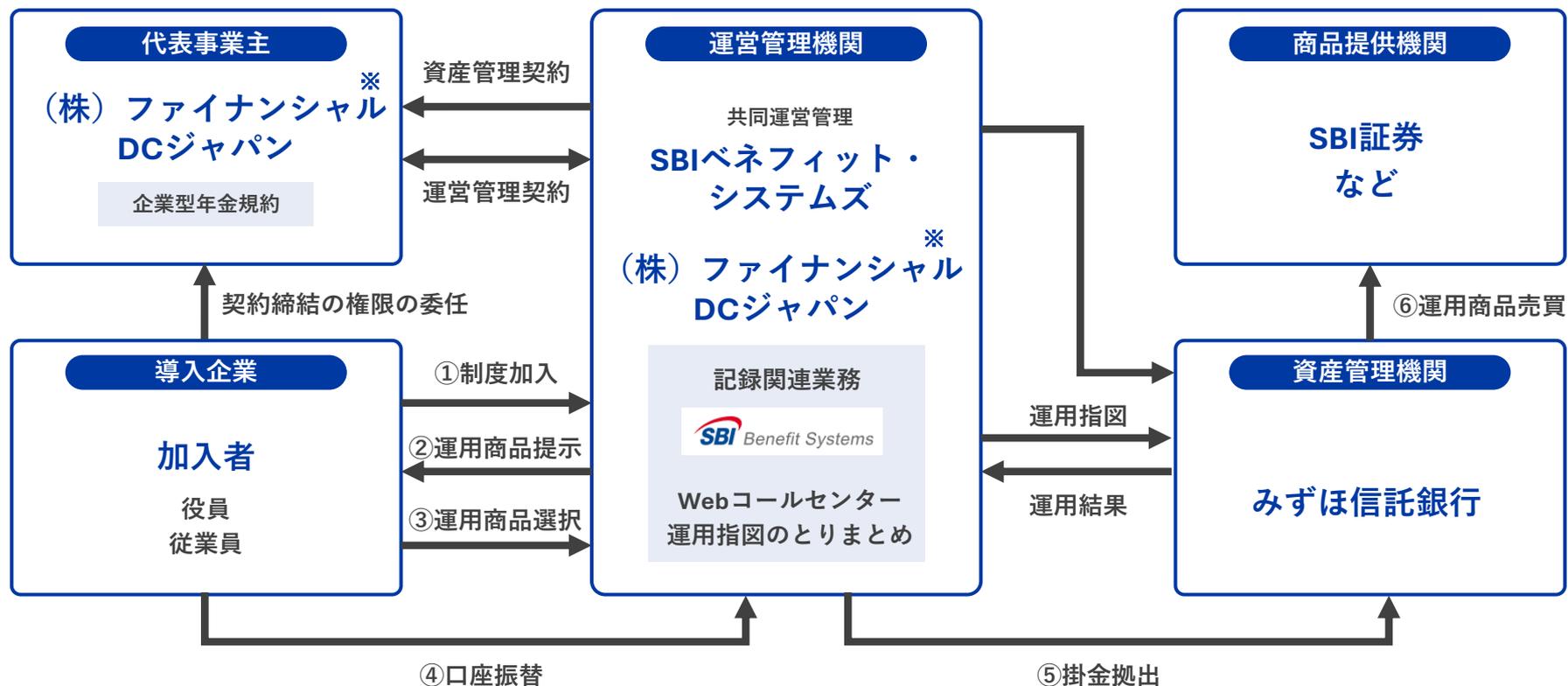
ない

個人型確定拠出年金に切り替えて継続

iDeCo

企業型DC運営の全体像

確定拠出年金制度 関係機関の全体像



※代表事業主・運営管理機関の(株)ファイナンシャルDCジャパンは、SBIベネフィット・システムズと共同開発した「SBIしあわせ年金プラン」の導入支援及び継続運営サポートを行っています。

※当社 (K.I.パートナーズ(株)) は(株)ファイナンシャルDCジャパンの提携パートナーであり、企業型確定拠出年金導入の支援をする会社です。

よくある質問

Q. 経営者も加入できるのですか？

A. はい、経営者や役員も加入の対象になります。

Q. 社員は加入を選択できるのですか？

A. はい、社員は加入する・しないを選択することができ、また掛金も自ら設定することが可能です。

Q. 確定拠出年金を導入する場合、どのような費用がかかりますか？

A. 導入時の手続きや社員説明会の実施などの初期費用に加えて、年間のランニングコストなどが発生します。

Q. 経営者1人でも加入のメリットはありますか？

A. 掛金や加入期間によっても変動しますが、ご自身の退職金の積み立てとして有効な手段になります。実際に、経営者単独の加入も数多くあります。

Q. 導入後の手続きは面倒ではないですか？

A. 加入している社員の退職時や掛金の変更、また新入社員が加入する場合など手続きが発生します。運用については、(株)ファイナンシャルDCジャパンがサポートするので不明な点などは問い合わせができる環境を整えています。

Q. 社員が退職した場合は掛金はどうなるのですか？

A. 掛けた資産は社員個別の資産になります。転職先の会社に企業型DCがあれば、そちらで運用をすることになります。

無料オンライン診断実施中

企業型確定拠出年金にご興味があれば、まずは無料オンライン診断をおすすめしています。
30分～1時間程度で、以下をお伝えします。

- ・ 企業型確定拠出年金の概要説明
- ・ 貴社が導入した場合のシミュレーション（社会保険料や税金節減、導入コストなど）

企業型確定拠出年金導入実績

全国1位達成

※ファイナンシャルDCジャパンの実績：2020年12月～2022年1月間のSBIベ
ネフィット・システムズ(株)さまのパートナー中において。

全国対応

オンラインOK

専門家対応

企業型確定拠出年金導入 無料相談受付中！

<https://kyuuyo.kipartners.jp/shindan/>



ご希望の方は、リンクまたはQRコードからお申込みください。

ご相談
ください

